01　対象機器一覧

対象は一覧 17 区分・室外機 18 台。全 18 台について各年度 4 回、原則 3 か月以内ごとの簡易点検を定額委託費に含める。原資料の出力値は参考情報として保持し、定期点検の判定値とは区別する。

定期点検の要否は、電動式は圧縮機用電動機、GHP は原動機（エンジン）の定格出力を銘板・メーカー資料で確認して判定する。未確認でも簡易点検の対象から除外しない。AC-16・17 は仮管理記号とし、正式記号判明時も旧記号を併記する。GHP はガスヒートポンプを示す。

No.	管理記号	機器名称	メーカー	型式	出力 kW 原資料値	室外機 台数	設置場所・用途
1	GHP-1	GHP マルチエアコン室外機	ダイキン	GYD224AN	5.00kW	1	3 階会議室 5 用
2	GHP-2	GHP マルチエアコン室外機	ダイキン	GHDP560AN	12.40kW	1	4 階セミナー室 1・4 用
3	GHP-3	GHP マルチエアコン室外機	ダイキン	GMDP560AN	24.80kW	2	セミナー室 2・5、会議室 1-1・1-2・4 用
4	GHP-4	GHP マルチエアコン室外機	ダイキン	GHDP450AN	10.00kW	1	セミナー室 3、会議室 3、講師控室
5	PAC-1	ヒートポンプ式 パッケージエアコン	ダイキン	RQYP280A	5.90kW	1	2 階事務室系統
6	PAC-2	ヒートポンプ式 パッケージエアコン	三菱電機	PUHV-P400-280SDM	7.4kW+ 5.3kW	1	1 階レストラン系統
7	PAC-3	ヒートポンプ式 パッケージエアコン	三菱電機	PUHV-P450DM-E	8.40kW	1	イベントホール
8	PAC-4	ヒートポンプ式 パッケージエアコン	三菱電機	PUHV-P450DM-E	8.40kW	1	イベントホール
9	PAC-5	ヒートポンプ式 パッケージエアコン	三菱電機	PUHV-P450DM-E	8.40kW	1	イベントホール
10	PAC-6	ヒートポンプ式 パッケージエアコン	三菱電機	PUHV-P450DM-E	8.40kW	1	イベントホール
11	HPC-2	ヒートポンプエアコン	ダイキン	RZRP160BB	2.99kW	1	3 階ライブラリー事務室
12	HPC-3	ヒートポンプエアコン	ダイキン	RZYP80BAT	1.76kW	1	1 階レストラン（ファーストフード側）
13	HPC-7	ヒートポンプエアコン	ダイキン	RZRP50BAV	0.85kW	1	1 階イベントホール受付
14	HPC-9	ヒートポンプエアコン	ダイキン	RZRP80BB	1.70kW	1	1 階イベントホール音響調整室
15	EHP-1	ヒートポンプエアコン	ダイキン	RZYP112BB	2.03kW	1	1 階室外機置場、3 階ミーティングルーム用
16	AC-16	ヒートポンプエアコン	三菱電機	PUZ-ERMP280KA	6.00kW	1	3 階 SCK 事務所 1
17	AC-17	ヒートポンプエアコン	三菱電機	PUZ-ERMP56KA11	1.20kW	1	3 階 SCK 事務所 2

02　設備台帳・定期点検要否確認表

室外機 1 台につき 1 行で管理する。GHP-3 の 2 台は暫定個体番号①・②で識別し、製造番号と現地写真で対応を確定する。出力・初期充塡量は個体ごとに確認し、系統合計値をそのまま転記しない。区分欄の「外」は対象外、「未」は未確認を示す。

空調用途の定期点検は、定格出力 7.5kW 以上 50kW 未満は 3 年に 1 回以上、50kW 以上は 1 年に 1 回以上。電動式は圧縮機用電動機、GHP は原動機の定格出力で判定する。未確認は対象外扱いにせず、資料・確認者・確認日を補票に記録する。確認・台帳更新は定額、定期点検の実施は別途費用。

室外機個体記号	冷媒種類	初期充塡量 kg	判定用定格出力 kW	定期点検区分	直近定期点検日	次回期限	確認資料・日付
GHP-1				□外 □3 年 □1 年 □未			
GHP-2				□外 □3 年 □1 年 □未			
GHP-3①				□外 □3 年 □1 年 □未			
GHP-3②				□外 □3 年 □1 年 □未			
GHP-4				□外 □3 年 □1 年 □未			
PAC-1				□外 □3 年 □1 年 □未			
PAC-2				□外 □3 年 □1 年 □未			
PAC-3				□外 □3 年 □1 年 □未			
PAC-4				□外 □3 年 □1 年 □未			
PAC-5				□外 □3 年 □1 年 □未			
PAC-6				□外 □3 年 □1 年 □未			
HPC-2				□外 □3 年 □1 年 □未			
HPC-3				□外 □3 年 □1 年 □未			
HPC-7				□外 □3 年 □1 年 □未			
HPC-9				□外 □3 年 □1 年 □未			
EHP-1				□外 □3 年 □1 年 □未			
AC-16				□外 □3 年 □1 年 □未			
AC-17				□外 □3 年 □1 年 □未			

03　機器別簡易点検記録様式

室外機 1 台ごと・点検 1 回ごとに作成する。未確認の項目は理由と再確認予定を記録する。

項目	記入内容
点検日・実施者	令和　年　月　日　／
対象室外機	系統記号：　　個体記号：　　製造番号：　　場所：
運転状態	□運転中　□停止中　□運転確認不可（理由：　　）
室外機・配管	□異常音なし　□異常振動なし　□損傷なし　□腐食・錆なし　□油にじみなし
熱交換器等	□異常な霜付きなし　□汚れ・閉塞なし　□周辺障害なし
室内機	□霜付きなし　□油にじみなし　□異常表示なし　□吹出し等に異常なし
判定	□異常なし　□要注意　□漏えい疑い　□故障疑い　□未確認あり
未確認箇所・理由	
一次措置・連絡	
写真 No.・備考	
周囲温度 ℃	
異常音・振動の具体的状態	
腐食・錆／油にじみ／霜付き／外観損傷	

04　年度総括表

対象 18 台について、各回の実施日と判定を個別に記録する。未実施は空欄で放置せず、理由・実施予定日を記入する。冷媒の充填・回収等は年度冷媒管理総括補票に記録する。

室外機個体記号	第 1 回 実施日・判定	第 2 回 実施日・判定	第 3 回 実施日・判定	第 4 回 実施日・判定	未是正・次年度引継ぎ
GHP-1					
GHP-2					
GHP-3①					
GHP-3②					
GHP-4					
PAC-1					
PAC-2					
PAC-3					
PAC-4					
PAC-5					
PAC-6					
HPC-2					
HPC-3					
HPC-7					
HPC-9					
EHP-1					
AC-16					
AC-17					

05　異常・漏えい疑い報告書

項目	記入内容
発見日時・発見者	
対象機器	系統記号：　　個体記号：　　場所：
兆候	□油にじみ　□異音　□振動　□霜付き　□損傷・腐食　□異常表示　□その他
運転・安全への影響	
写真・確認箇所	
一次措置	□運転停止　□使用制限　□立入制限　□監視継続　□その他
発注者への速報	日時：　　方法：　　受信者：
専門確認・修理案	
充填・回収	□なし　□予定　□実施（登録業者：　　冷媒：　　量：　kg）
未修理理由・予定	
復旧確認	日時：　　確認者：　　結果：

06　責任分界・費用区分表

作業	簡易点検業務	統括 02 冷暖房保守	統括 04 設備運転監視	別途専門業務・費用
年 4 回の簡易点検・機器別記録	主担当。定額	同時実施可。記録連携	日常異常監視	－
設備台帳・銘板・判定用定格出力・直近点検日の照合	主担当。定額	保有情報を提供	保有情報を提供	特殊な足場・高所作業車等が必要な場合は別途
日常運転中の異常発見	連絡受領・記録	整備提案	主担当	－
法定定期点検	要否・期限管理、結果反映は定額。点検実施は対象外	連携	－	知見を有する者が別途実施・別途費用
漏えい調査・修理	速報・調整・記録反映は定額	整備連携	停止等一次対応	漏えい箇所特定、修理、部品交換は別途
冷媒充填・回収	証明書情報・台帳反映は定額	連携	－	登録業者による冷媒購入、充填・回収、廃棄時回収は別途
高所作業車・足場	定額範囲外	－	－	必要性・数量・概算費用を事前提示し承認後に別途実施
記録の保存・開示	電子データ提出	関連記録提出	日報連携	発注者が最終管理。受託者は記録整理・電子データ提出を定額で実施

06-2　定額・別途費用区分一覧

別途作業は必要性・対象・数量・概算費用を示し、発注者の事前承認後に実施する。緊急時は安全確保と速報を優先し、追加作業の取扱いを速やかに協議する。

項目	定額	別途	取扱い
対象 18 台・各年度 4 回の簡易点検	○	–	外観・運転状態を安全に確認できる範囲で点検
銘板・判定用定格出力の確認、台帳・判定表の更新	○	–	定期点検要否・周期の判定資料を整備
法定定期点検	–	○	対象・周期の判定後、知見を有する者が別途実施
専門的漏えい調査・漏えい箇所特定	–	○	方法・数量・費用を事前提示
修理・部品交換・冷媒購入・充塡回収	–	○	法令上必要な登録等を有する者が実施
足場・高所作業車・分解・外板取外し	–	○	通常の簡易点検を超える作業

07　履行開始時の確認

本仕様書と本補足資料により、対象 18 台の簡易点検範囲及び定額・別途費用を特定する。公募時に既存の点検履歴、銘板写真又はメーカー資料が確認できる場合は参考資料として提示し、確認できない情報は履行開始時に受託者が台帳へ記録する。機器配置図がなくても設置場所・管理記号で管理できるが、位置が判別しにくい場合は初回点検時に写真付き位置図を追加する。

No.	確認項目	本業務での扱い
1	対象 17 系統・18 台の現存、型式、台数、場所	全 18 台の年 4 回簡易点検は定額。初回照合で台帳確定し、不存在・更新は履歴付きで修正
2	識別	AC-16、AC-17 を管理記号として付番
3	出力欄の意味・定期点検対象	原資料値は参考情報として保持。判定用定格出力（電動式は圧縮機用電動機、GHP は原動機）を銘板・メーカー資料等で確認し、定期点検要否を判定。確認・台帳更新は定額、定期点検実施は別途
4	室内機の対象範囲	対応系統について安全に目視可能な範囲を確認
5	既存記録・直近点検日	履行開始時に引継ぎ、欠落は欠落として台帳に記録
6	漏えい調査・修理・冷媒費用	通常簡易点検外。対象機器、資格・登録、数量、概算費用及び日程を提示し、事前承認後に別途実施
7	他業務との重複	要件を満たす同時点検は重複不要。機器別記録を必須化

08　機器別設備台帳補票

室外機 1 台ごとに作成し、銘板写真・メーカー資料を添付する。未確認事項は確認先と予定日を記録する。

出力の判定は日本冷凍空調工業会「フロン排出抑制法について」を参照。
https://www.jraia.or.jp/product/g_heatpump/flongas_rule.html

項目	記入欄
No.・管理記号・室外機個体番号	
製造番号	
設置年	
第一種特定製品表示	
管理者名称	
直近充塡 年月日・冷媒・量 kg	
直近回収 年月日・冷媒・量 kg	
廃棄・移管年月日	
記録保存終了日	
判定用定格出力 kW	駆動：□電動機 □原動機（GHP） 個体値：　　出力根拠：
銘板写真番号・メーカー資料番号	
定期点検区分・確認者・確認日	□対象外 □3 年 □1 年 □未確認 確認者：　　確認日：

09　年度冷媒管理総括補票

室外機 1 台ごと・年度ごとに作成する。充塡・回収の証明書等と記録を対応させ、算定は法令所定の方法により行う。

項目	記入欄
年度・機器管理記号・室外機個体番号	
冷媒種類	
年度充塡量 kg	
年度回収量 kg	
充塡・回収年月日と各量 kg	
算定用冷媒区分・係数・根拠資料	
算定結果・単位・算定者	
未修理事項・理由・予定	
翌年度引継ぎ事項	